

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 認定特定非営利活動法人 北朝鮮難民救援基金

1. 事業名称

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

2. 事業の目的

昨年度実施した北朝鮮難民日本定住日本語コースを今年度も継続実施することを通して、北朝鮮難民が日本社会の良き共生者として定着するための教育支援を組織的に実施し、スムーズな日本定着を促進する。また、日本語コース運営から得られた知見を還元し、今後関係団体と連携して定住支援に当たって行くためのシンポジウムを初開催する。

3. 事業内容の概要

取組1) 北朝鮮難民定住日本語コース

- ①9/6(木)～11/13(火) 初級後半 池袋教室
- ②9/6(木)～11/13(火) 初級 大塚教室
- ③11/15(木)～2/5(火) 初級後半 池袋教室
- ④11/16(金)～1/30(水) 初級 大塚教室
- ⑤11/15(木)～1/31(木) 中級 大塚教室
- ⑥2/18(月)～3/15(金) 初級 大塚教室
- ⑦2/19(火)～3/16(土) 中級 大塚教室

取組2) 日本語教育シンポジウム

平成25年2月24日(日)、明治大学)

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年6月5日 18:00～19:30	1時間半	明治大学アカデ ミーcommons カフェ	運営委員: 田平啓剛 川島高峰 眞鍋 貞樹 海老原智治 儀満敏 彦 オフサバー:加藤 博	1.運営委員紹介、役割確認 2.受講生の分類 3.教室の確保 4.講師の確保	1.運営委員紹介と役割の確認 2.受講生のグループ分け 3.教室は2ヶ所とする 4.講師は田平と加藤が責任を以て手当てする
2	平成24年8月9日 18:00～19:00	1時間	明治大学アカデ ミーcommons カフェ	運営委員: 田平啓剛 海老原智治 儀 満敏彦 オフサバー:加藤 博	1.日本語教室の開講 2.受講生の募集	1.①講師の決定と経歴 ②コーディネーター依頼 ③会場の借用 2.募集の直接呼びかけと新聞広告
3	平成24年10月12日 18:00～19:00	1時間	明治大学アカデ ミーcommons カフェ	運営委員: 田平啓剛 川島高峰 眞鍋 貞樹 海老原智治 儀満敏 彦 オフサバー:加藤 博	1.日本語教室の現況報告 2.シンポジウムの持ち方 3.シンポジウム会場と開催 時期	1.池袋教室と大塚教室の現況報告 2.「定住者問題と日本語教育」シンポジウムの内容 3.場所と開催時期の設定
4	平成24年12月8日 18:00～19:00	1時間	明治大学アカデ ミーcommons カフェ	運営委員: 田平啓剛 川島高峰 眞鍋 貞樹 海老原智治 儀満敏 彦 オフサバー:加藤 博	1.日本語教室の現況報告 2.シンポジウムの件	1.池袋教室の問題点報告。大塚教室講師変更の報告。 2.シンポジウム開催時期と講師、パネラーの決定

5. 取組についての報告

○取組1:北朝鮮難民定住日本語コース

(1)体制整備に向けた取組の目標

北朝鮮難民が日本社会の良き共生者として定着するための教育支援を組織的に実施し、スムーズな日本定着を促進する。

(2)取組内容

初級、初級後半、中級等、受講者の能力別にクラス編成をし、効率的な日本語教育を心掛け、実施した。

(3)対象者

当初、北朝鮮を脱出し、日本に定住することになった所謂「脱北者」を対象としていたが、今年度はその「脱北者」の新規流入がストップし、また、既に入国・定住を果たしていた人々に係る受講を続けられない諸事情から、最終的には在日中国人、在日韓国人ばかりの受講者となった。

(4)参加者の募集方法

「脱北者」が、未だその親族を北朝鮮に残しており、脱北の事実が明らかになると、その親族の安全が危険に曝されることから、余り大々的に募集広報を行うことはできない。従って、個々に口伝で、或いは当「北朝鮮難民救援基金」のホームページで案内することになり、当初から参加者の募集方法に大きな制約があった。

他方、日本語教室の会場となった場所の性格から、「日本人配偶者後援会」(大塚教室)に出入りしていた、日本人と国際結婚した在日中国人等、また、「民団・豊島支部」(池袋教室)関係の在日韓国人の目に触れることが多く、最終段階では、これら当初予期していなかった人々が主流の受講者となってしまった。

(5)参加者の総数 37人

(出身・国籍別内訳 中国28人、韓国6人、北朝鮮1人、日本1人、マレーシア1人)

(6)開催時間数(回数) 306時間 (全153回)

- ① 40時間 (全20回) ② 58時間 (全29回) ③ 40時間 (全20回)
- ④ 60時間 (全30回) ⑤ 60時間 (全30回) ⑥ 24時間(全12回)
- ⑦ 24時間(全12回)

(7)取組の具体的内容

上記①～⑦の具体的内容については、それぞれ別添の「地域日本語教育実践プログラム取組内容」記載のとおりである。

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年9月6日 18:00~20:00	2時間	3人	北朝鮮(1)、韓国(1) 日本(1)	コンビニ	コンビニで販売しているもの、コンビニのサービス、コンビニでの日本語表現
2	平成24年9月11日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1)	日本語で困っている点	日本語で困っている点についてのコンサルティング、現在翻訳している日本語のチェック等
3	平成24年9月13日 18:00~20:00	2時間	3人	北朝鮮(1)、韓国(2)	初級後半文法、漢字	文法(「条件」を表す表現)、中級漢字
4	平成24年9月18日 18:00~20:00		0人			
5	平成24年9月20日 18:00~20:00	2時間	1人	北朝鮮(1)	初級後半文法、日本事情	文法(「条件」を表す会話表現)、日本事情紹介(花火、だるま)
6	平成24年9月25日 18:00~20:00	2時間	2人	北朝鮮(1)、韓国(2)	初級後半文法、漢字、初級・会話スキット	文法復習、中級漢字、初級・中級会話スキット(「値段を聞く」)
7	平成24年9月27日 18:00~20:00	2時間	3人	北朝鮮(1)、韓国(2)	漢字、会話スキット	中級漢字、初級・中級会話スキット(「趣味を話す」)
8	平成24年10月2日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1)	漢字、会話スキット	初級漢字、初級・中級会話スキット(「注文する」)
9	平成24年10月4日 18:00~20:00	2時間	3人	北朝鮮(1)、韓国(1)、 日本(1)	初級後半文法、漢字、初級・会話スキット	文法(「～ように」の表現)、中級漢字、初級・中級会話スキット(「注文をする」)
10	平成24年10月9日 18:00~20:00	2時間	2人	韓国(2)	会話スキット	初級・中級会話スキット(「注文をする」)
11	平成24年10月11日 18:00~20:00	2時間	3人	北朝鮮(1)、韓国(2)	初級後半文法、初級会話スキット	初級会話スキット(「今のことを話す」)
12	平成24年10月16日 18:00~20:00	2時間	2人	韓国(2)	中級会話スキット、漢字についての質問回答	中級会話スキット(「今のことを話す」)、漢字についての質問回答(書き順、同じ漢字を使った漢字語彙)
13	平成24年10月18日 18:00~20:00	2時間	2人	韓国(2)	初級・中級会話スキット	初級・中級会話スキット(「許可を求める」)、関連語彙、漢字、表現、動詞の縮約形
14	平成24年10月23日 18:00~20:00	2時間	2人	韓国(2)	日本語表現、漢字	カラオケによる日本語表現と漢字読みと書き
15	平成24年10月25日 18:00~20:00	2時間	2人	韓国(2)	初級・中級会話スキット	初級・中級会話スキット(「許可を求める」「順番を言う」)
16	平成24年10月30日 18:00~20:00	2時間	2人	韓国(2)	スピーチ、都内移動方法	1分間スピーチ練習(テーマ:「成年後見人制度」)、都内の電車による移動方法と使用する日本語
17	平成24年11月1日 18:00~20:00	2時間	2人	韓国(2)	初級・中級会話スキット、日本語についての疑問	初級・中級会話スキット(「順番を言う」)、発音の似ている語彙、日にちの言い方確認、お礼の言い方、インターネットによる路線と料金の調べ方
18	平成24年11月6日 18:00~20:00	2時間	2人	韓国(2)	日本事情、韓国事情について	「合同コンパ」と「新歓コンパ」の日韓比較、韓国の「よもぎサウナ」について
19	平成24年11月8日 18:00~20:00	2時間	3人	韓国(3)	日本語についての疑問点回答	外来語発音、日本語能力試験記述問題、名前の漢字の説明の仕方、NHKウェブサイト「やさしい日本語」紹介、漢字振り仮名付けサイト紹介
20	平成24年11月13日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1)	日本事情紹介	日本事情紹介(茶道)

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年9月6日 18:00~20:00	2時間	6人	中国(6人)	受講生の日本語能力 チェック等	テキスト第1課の漢字、文型。音読と会話等
2	平成24年9月8日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(5人)	聞き取りと会話力の チェック	テキスト第1課、本文の暗誦と練習
3	平成24年9月11日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(5人)	発音練習、歌の導入	テキスト第2課の漢字、本文等
4	平成24年9月13日 18:00~20:00	2時間	2人	中国(2人)	日記記帳と発音指導	テキスト第2課の漢字と練習
5	平成24年9月15日 18:00~20:00	2時間	2人	中国(2人)	日記のチェック、「赤と んぼ」	テキスト第3課の漢字、練習問題
6	平成24年9月18日 18:00~20:00	2時間	2人	中国(2人)	日記チェックと会話	テキスト第4課の本文、漢字、練習
7	平成24年9月20日 18:00~20:00	2時間	2人	中国(2人)	日記と会話、発音練習	テキスト第5課の本文、漢字、練習
8	平成24年9月22日 18:00~20:00	2時間	2人	中国(2人)	発音練習、会話、「赤と んぼ」の歌	テキスト第6課の本文、漢字、練習
9	平成24年9月25日 18:00~20:00	2時間	2人	中国(2人)	日記チェック、会話練 習	テキスト第7課の本文、練習、発音練習
10	平成24年9月27日 18:00~20:00	2時間	2人	中国(2人)	会話練習、「赤とんぼ」 の歌	テキスト第8課の本文、漢字、練習問題
11	平成24年9月29日 18:00~20:00	2時間	0人			
12	平成24年10月2日 18:00~20:00	2時間	3人	中国(3人)	新入生の能力チェッ ク、日記	テキスト第9課の本文、漢字、練習
13	平成24年10月4日 18:00~20:00	2時間	0人			受講生に誤解があり、出席者なし
14	平成24年10月6日 18:00~20:00	2時間	3人	中国(3人)	復習と質疑応答	テキスト第9課、10課の文型例文
15	平成24年10月9日 18:00~20:00	2時間	2人	中国(2人)	数字の教え方、言い方 等	テキスト第11課の本文と文型例文等
16	平成24年10月11日 18:00~20:00	2時間	4人	中国(4人)	会話練習と歌・赤とん ぼ	テキスト第9課の漢字と練習
17	平成24年10月13日 18:00~20:00	2時間	4人	中国(4人)	文法、平仮名、片仮 名、「北国の春」	テキスト第10課の本文、漢字
18	平成24年10月16日 18:00~20:00	2時間	8人	中国(8人)	作文と「北国の春」	テキスト第10課の本文、漢字、練習
19	平成24年10月18日 18:00~20:00	2時間	8人	中国(8人)	日記、平仮名、文法	テキスト第11課の本文、漢字
20	平成24年10月20日 18:00~20:00	2時間	7人	中国(7人)	新入生の能力チェッ ク、会話、歌	テキスト第11課の本文、漢字、練習
21	平成24年10月23日 18:00~20:00	2時間	9人	中国(9人)	日記チェックと会話練 習	テキスト第11課の本文、練習、漢字
22	平成24年10月25日 18:00~20:00	2時間	8人	中国(8人)	日記チェックと漢字、作 文、助詞	テキスト第12課の本文、漢字
23	平成24年10月30日 18:00~20:00	2時間	6人	中国(6人)	会話、日記、歌	テキスト第12課の漢字、練習、文の構成等
24	平成24年11月1日 18:00~20:00	2時間	6人	中国(6人)	日記チェックと漢字練 習	テキスト第13課の本文、漢字、練習
25	平成24年11月3日 18:00~20:00	2時間	4人	中国(4人)	全員の発音に改善が あり、一層の努力を促 す	テキスト第13課の本文、漢字、練習等
26	平成24年11月6日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(5人)	日記、平仮名、片仮名 の個人別チェック	テキスト第14課の漢字、本文、練習等
27	平成24年11月8日 18:00~20:00	2時間	4人	中国(4人)	日記チェック、日本の 漢字習得の必要性説 明	テキスト第15課の本文、漢字、練習等
28	平成24年11月10日 18:00~20:00	2時間	4人	中国(4人)	日記チェック、会話練 習	テキスト第16課の漢字、本文、練習等
29	平成24年11月13日 18:00~20:00	2時間	6人	中国(6人)	3ヶ月間の授業の総括	日中両言語の違いにより、発音に問題があったが、 日記の利用により、今後は独習できるレベルに達し たものと認められる。

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年11月15日 18:00~20:00	2時間	2人	韓国(2人)	初級漢字、日本事情紹介	初級漢字、日本の飲食店の種類紹介
2	平成24年11月20日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1人)	漢字部首紹介、日本事情紹介	漢字部首と部首の歌紹介、日本の高校の部活動紹介
3	平成24年11月22日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1人)	部首紹介	部首の名称
4	平成24年11月27日 18:00~20:00	2時間	2人	韓国(2人)	部首による漢字紹介	部首による漢字紹介(「つくり」、アニメ映像(「さるかに合戦」による漢字学習)
5	平成24年11月29日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1人)	部首による漢字紹介	部首による漢字紹介(「あし」「たれ」「によう」「かまえ」)
6	平成24年12月4日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1人)	部首による漢字紹介	部首概要、部首の名称
7	平成24年12月6日 18:00~20:00		0人			
8	平成24年12月11日 18:00~20:00		0人			
9	平成24年12月13日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1人)	部首による漢字紹介	部首による漢字紹介(「へん」)
10	平成24年12月20日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1人)	日本・韓国事情	衆議院選挙、衆参議院制度、韓国の大統領選挙、新聞記事・テレビニュース(「たき火にあたるニホンザル」)
11	平成24年12月25日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1人)	日本事情	「成年後見人制度」についての記事読み、内容発表
12	平成25年1月8日 18:00~20:00		0人			
13	平成25年1月10日 18:00~20:00		0人			
14	平成25年1月15日 18:00~20:00		0人			
15	平成25年1月17日 18:00~20:00		0人			
16	平成25年1月22日 18:00~20:00		0人			
17	平成25年1月24日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1人)	ビジネス日本語	ビジネス日本語・報告書作成についてのウェブ情報紹介
18	平成25年1月29日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1人)	日本事情	「成年後見人」についてのウェブ情報読み
29	平成25年1月31日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1人)	日本・韓国事情	「成年後見人」についての文章添削、韓国ニュースの日本語訳
20	平成25年2月5日 18:00~20:00	2時間	1人	韓国(1人)	韓国事情、日本語学習の方法	韓国料理の作り方、漢字学習ソフトの利用法

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年11月15日 18:00～20:00	2時間	6人	中国(6人)	初級Ⅰ 第1課～第16課の復習	1. 新規参加者がいるので、学生に自己紹介をしてもらいました。2. 学生の一期の習得状況が知りたいので、「ここは教室です。教室に何がありますか?」について、文を作ってもらいました。みんな間違っているので、文型「…に…あります」を説明しました。3. 動詞のます形、否定形(ない)、て形を説明し、五段、一段、サ変、カ変を別々に説明しました。4. 学生の語彙量が少ないので、思いついた単語を教えました。
2	平成24年11月17日 18:00～20:00	2時間	7人	中国(7人)	第17課 文型、例文	1. 動詞のない形を復習してから、文型の説明をしました。2. 文型を説明した後、学生にその文型を使い、文を作ってもらいました。3. 学生に習った文型で文を作る時に、使いたい単語を中国語で言ってもらい、日本語の言い方を教えました。4. 学生の発音について、気になるところを直しました。
3	平成24年11月20日 18:00～20:00	2時間	8人	中国(8人)	第17課 会話、練習A～練習C	1. 会話について、学生にペアで会話を読んでもらいました。2. 練習について、学生を順番に練習問題を解いてもらった。
4	平成24年11月22日 18:00～20:00	2時間	5人	中国(5人)	第18課 文型、例文	1. 動詞のます形と辞書形を復習してから、文型の説明をしました。2. 文型を説明した後、学生にその文型を使い、文を作ってもらいました。3. 同じ系列の単語をまとめて教えました。例: 掃除用具、モップ、箒、ちりとり、雑巾。4. 干支の言い方と書き方を教えました。5. 質問応答の時間を作りました。学校で習ったが、まだ分からないことや、日常生活で疑問に思うことなど。
5	平成24年11月24日 18:00～20:00	2時間	6人	中国(6人)	第18課 文型、例文、会話	1. 会話の練習として、学生に自分の趣味について発表しました。2. 学生から漢字の練習をしたいという要望がありました。身近な言葉から覚えてもらう為に、小学生用の漢字ドリルを使いました。今回は曜日についての練習です。例: 月曜日、月の音読み、訓読み、平仮名で書いた単語の漢字も一緒に教えました。3. お月さまという言葉が出たので、「竹取物語」を簡単に紹介しました。
6	平成24年11月27日 18:00～20:00	2時間	7人	中国(7人)	第19課 文型、例文、会話	1. 学生自身が日本で経験したことを習った「～たことがあります」を使って、文を作りました。2. 形容詞+動詞、形容動詞+動詞についてを説明しました。3. 曜日を表す漢字の訓読み、音読みの練習をしました。
7	平成24年11月29日 18:00～20:00	2時間	6人	中国(6人)	第17課、第18課、第19課の復習	今まで勉強したことに理解できなかった部分を質問してもらい、回答しました。
8	平成24年12月01日 18:00～20:00	2時間	6人	中国(6人)	第20課 文型、例文、会話	1. 「丁寧形」(です、ますで終わる文のこと)と「普通形」(動詞や形容詞原形、形容動詞、名詞がで終わる文のこと)について説明しました。2. 会話を練習する時に、学生に冬休み、正月休みの予定について発表しました。
9	平成24年12月04日 18:00～20:00	2時間	6人	中国(6人)	復習	1. 新規参加者がいる為、みんなに自己紹介をしてもらった。自分の趣味などについて、自由に発表しました。2. 学生から表情についての単語を覚えてほしいという要望があったので、喜怒哀楽などを教えました。
10	平成24年12月06日 18:00～20:00	2時間	7人	中国(7人)	第21課 文型、例文	1. 例文に「日本についてどう思いますか?」があるので、学生に自分の意見を発表しました。2. 「雨と鈴」、「無視、虫と蒸し」アクセントが違うと意味が違ってくる単語を学生に説明しました。
11	平成24年12月08日 18:00～20:00	2時間	5人	中国(5人)	第21課 会話	学生にテーマを設け、「私もそう思います」「私はそう思いません!」について学生に自由に発表しました。
12	平成24年12月11日 18:00～20:00	2時間	7人	中国(7人)	第22課 文型、例文	1. 普通形の復習をしました。2. 学生に「ですから」、「それで」、「それに」の違いについて質問をされ、説明しました。
13	平成24年12月13日 18:00～20:00	2時間	6人	中国(6人)	第22課 会話、練習	1. 学生に習った文型で文を作ってもらいましたが、うまくできないので、文型をもう一度説明しました。2. 文型を説明した後、学生にペアで練習問題をやりました。
14	平成24年12月15日 18:00～20:00	2時間	5人	中国(5人)	第23課 文型、例文	1. 文型を教えた後、学生に習った文型でぶんを作ってもらいました。2. 形容詞と形容動詞について説明しました。
15	平成24年12月18日 18:00～20:00	2時間	6人	中国(6人)	第23課 会話、練習	習った文型を練習する為に、学生に文を作ってもらいました。
16	平成24年12月20日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	第24課 文型	1. 味覚を表す単語「甘い」、「苦い」、「辛い」、「酸っぱい」、「しょっぱい」を教えました。2. 「考え方が甘い」のような、味覚を表す以外の使い方について例をあげて、教えました。3. 同じ漢字で書く「からい」と「つらい」を説明しました。
17	平成24年12月22日 18:00～20:00	2時間	3人	中国(3人)	第24課 文型	1. 中国語で同じ漢字「給」で表す「あげる」、「くれる」について、例をあげて説明しました。2. 天気を表す単語「晴れ」、「曇り」、「雨」、「雪」、「雷」、「稲妻」をセットで教えました。
18	平成24年12月25日 18:00～20:00	2時間	2人	中国(2人)	復習	1. 場所を表す助詞「に」と「で」の違いについて、例をあげて、説明しました。2. 化粧品の違いについて、例をあげて、説明しました。
19	平成24年12月27日 18:00～20:00	2時間	1人	中国(1人)	復習	1. 仮定を表す「と」、「ば」、「たら」、「なら」の違いについて、例をあげて、説明しました。2. 干支と星座の言い方について説明しました。
20	平成25年01月08日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	復習	1. 学生にお正月の過ごし方について発表してもらいました。2. 「と思います」、「と思っています」、「たいと思います」、「たいと思っています」、「しようと思います」、「しようと思っています」について、例をあげて説明しました。その後、学生に自分で文を作ってもらいました。
21	平成25年01月10日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』の「第4章 生活 その式」に出ている漢字、単語の説明をした後、練習問題をやってもらいました。
22	平成25年01月12日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』の「第4章 生活 その式」に出ている漢字、単語の説明をした後、練習問題をやってもらいました。
23	平成25年01月15日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	第11課から第15課までの会話	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』の「第4章 生活 試験模擬問題」でテストをしました。2. アクセントを直してほしいと学生からの要望があり、ペアで第11課から第15課までの会話練習をしました。
24	平成25年01月17日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』の「第1章 自然・生物 その巻」単語の解説をした後、練習問題をやりました。2. 「まだ」と「また」の違いについて、例をあげて、説明しました。
25	平成25年01月19日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』の第2章「心情・思考・言語」その巻の解説をした後、練習問題をやりました。2. 場所を表す助詞の「に」と「で」について、例をあげて、説明しました。
26	平成25年01月22日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』第2章「心情・思考・言語その巻」を説明した後、練習問題を解いてもらいました。2. 動詞のて形を復習しました。
27	平成25年01月24日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	復習	1. 「あげる」と「もらう」と「くれる」について、例文で説明しました。2. 「てあげる」と「てもらう」と「てくれる」について、例文で説明しました。3. 敬語(尊敬語と謙譲語)の違いについて、例をあげて、説明しました。
28	平成25年01月26日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』第2章「心情・思考・言語その巻」を説明した後、練習問題を解いてもらいました。2. 副詞「とても」、「よく」、「だいたい」、「ちょっと」について、例をあげて、説明しました。
29	平成25年01月29日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	復習	1. 「と思います」と「と言います」の違いについて、例文で説明しました。2. 「ないでください」と「なくてもいいです」と「なければなりません」の違いについて、例文で説明しました。3. 「～たい」、「～と思います」など今まで勉強した文型を使い、旧正月の予定について、発表してもらいました。4. 仮定を表す表現「たら」、「と」、「ば」、「と」の違いについて、例文で説明しました。
30	平成25年01月31日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』第2章「心情・思考・言語 試験模擬問題」をやってもらって、隣の人と交換し、自分で添削しました。2. 「いつも」、「時々」、「よく」の違いについて、例をあげて、説明しました。

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成25年02月18日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(4人) マレーシア(1人)	第16課 文型、例文	1. 旧正月(春節)の過ごし方について、学生に発表してもらった。 2. 文型を導入する前に、「動詞のテ形」を復習しました。
2	平成25年02月20日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(4人) マレーシア(1人)	第16課 会話、練習 第17課 単語	1. 文型「〜て、〜て、〜します」と「〜てから」の復習として、学生に「今日一日の行動」について、それぞれ発表をしてもらいました。 2. 第16課会話の内容の補足として、銀行ATMの使い方について、説明をしました。 3. 病院でよく使う表現であり、第17課の単語帳にない表現を補足説明しました。
3	平成25年02月22日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(4人) マレーシア(1人)	第17課 文型、例文、 会話	1. 「ないてください」と「てはいけません」の違いについて説明しました。 2. 「ていいですか」の質問に対し、「てはいけません」と「ないてください」を使った回答練習をしました。
4	平成25年02月25日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(4人) マレーシア(1人)	第18課 単語、文型、 例文、会話	1. 動詞のます形と辞書形を復習してから、文型の説明をしました。 2. 文型を説明した後に、学生にその文型を使い、文を作ってもらいました。 3. 「趣味」と「興味」の違いと使い方について、例をあげて説明しました。
5	平成25年02月27日 18:00~20:00	2時間	4人	中国(3人) マレーシア(1人)	第19課 単語、文型、 例文、会話	1. 動詞のタ形(過去形)の説明と作り方を説明しました。 2. 学生自身が日本で経験したことを習った「〜たことがあります」を使って、文を作りました。 3. 形容詞+動詞、形容動詞+動詞についてを説明しました。
6	平成25年03月01日 18:00~20:00	2時間	4人	中国(3人) マレーシア(1人)	第20課 単語、文型、 例文、会話	1. 「丁寧形」(です、ますで終わる文のこと)と「普通形」(動詞や形容詞原形、形容動詞、名詞がだで終わる文のこと)について説明しました。 2. 「約束をする」ことをテーマに、学生に会話練習をしました。
7	平成25年03月04日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(4人) マレーシア(1人)	第15課~第20課 復習	勉強したことが混乱しているようで、復習しました。 1. 動詞の「丁寧形」から「普通形」の作り方を例で説明し、単語帳にある単語で練習しました。例: 書きます→書く、書きません→書かない、書きました→書いた、書きませんでした→書かなかった。 2. 「なければなりません」、「なくてもいいです」と「てもいいです」の違いについて、例文で説明しました。 3. 「ことができます」と「ことがあります」の違いについて、例文で説明しました。
8	平成25年03月06日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(4人) マレーシア(1人)	第21課 単語、文型、 例文、会話	1. 例文に「日本についてどう思いますか」があるので、学生に自分の意見を発表しました。 2. 「イ形容詞」の「丁寧形」と「普通形」について説明し、単語帳の単語で練習しました。例: 大きいです→大きい、大きくないです→大きくない、大きかったです→大きかった、大きくなかったです→大きくなかった。 3. 「と言いました」の練習として、私が読んだ例文を学生に「先生は…を言いました」に直してもらった。
9	平成25年03月08日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(4人) マレーシア(1人)	第22課 単語、文型、 例文、会話	1. 「ナ形容詞」の「丁寧形」と「普通形」について説明した後、単語帳の単語で練習しました。例: きれいです→きれいだ、きれいじゃありません→きれいじゃない、きれいでした→きれいだった、きれいじゃありませんでした→きれいじゃなかった。 2. 「名詞」の「丁寧形」と「普通形」について説明した後、単語帳の単語で練習しました。例: 雨です→雨だ、雨じゃありません→雨じゃない、雨でした→雨だった、雨じゃありませんでした、→雨じゃなかった
10	平成25年03月11日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(4人) マレーシア(1人)	第23課 単語、文型、 例文、会話	1. 文型「〜とき、」と「〜と、」を説明した後に、学生にその文型を使い、文を作ってもらいました。 2. 会話を練習した後、大塚駅から教室の道案内、学生の家から最寄り駅までの道案内を練習しました。
11	平成25年03月13日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(4人) マレーシア(1人)	第24課 単語、文型、 例文、会話	1. 「あげる」、「くれる」、「もらう」の違いについて、ものの移動方向を矢印を使って説明した後、例文で説明しました。 2. 日本人の贈答の習慣について説明しました。 3. 場所を表す助詞「に」と「で」の違いについて、例をあげて、説明しました。
12	平成25年03月15日 18:00~20:00	2時間	5人	中国(4人) マレーシア(1人)	第25課 単語、文型、 例文、会話	1. 動詞のた形を復習してから、文型の説明をしました。 2. 文型を説明した後に、学生にその文型を使い、文を作ってもらいました。 3. 仮定を表す表現「たら」と「と」の違いについて、例文で説明しました。 4. 「いくら〜ても」と値段を聞く時の「いくら」の違いについて、例文で説明しました。

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成25年02月19日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	復習	1. 旧正月(春節)の過ごし方について、学生に発表してもらった。 2. 副詞「そして」、「それから」、「これから」の違いについて、例文で説明しました。3. 副詞「たぶん」、「きっと」、「もし」の違いについて、例文で説明しました。4. 動詞の「ます形」から「辞書形」、「て形」の変換方を復習しました。
2	平成25年02月21日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	復習	1. 学生に「節分」について聞かれました。インターネットで調べて、説明をしました。2. 「動詞過去形＋たことができます」と「動詞原形＋ことができます」の違いについて、例文で説明しました。
3	平成25年02月23日 18:00～20:00	2時間	2人	中国(2人)	漢字、語彙	1. 今まで勉強した『使う順と連想マップで学ぶ漢字&語彙』のプリントを復習しました。2. 文型「てもいいです」と「てはいけません」の違いについて、例文で説明した後、学生に文を作ってもらいました。
4	平成25年02月26日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』の「第4章 生活 その壱」に出ている漢字、単語の説明をした後、練習問題をやらせてもらいました。
5	平成25年02月28日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』の「第1章 自然・生物 その弐」に出ている漢字、単語の説明をした後、練習問題をやらせてもらいました。2. 「過去形＋たことがあります」と「辞書形＋たことができます」の違いについて、例文で説明しました。
6	平成25年03月02日 18:00～20:00	2時間	2人	中国(2人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字&語彙』の「第一章 自然・生物 その参」に出ている漢字と単語を説明した後、練習問題をやらせてもらいました。2. 副詞「まだ」と「まだまだ」の違いについて、例文で説明しました。
7	平成25年03月05日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』の「第1章 自然・生物 試験模擬問題」でテストをしました。2. 接続詞「てから」と「それから」の違いについて、例文で説明しました。3. 副詞「これから」と接続詞「それから」の違いについて、例文で説明しました。
8	平成25年03月07日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』の「第3章 交流・対立 その壱」に出ている漢字、単語の説明をした後、練習問題をやらせてもらいました。2. 接続詞「から」と「ですから」の違いについて、例文で説明しました。
9	平成25年03月09日 18:00～20:00	2時間	3人	中国(3人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』の「第3章 交流・対立 その弐」に出ている漢字、単語の説明をした後、練習問題をやらせてもらいました。2. 副詞「すこし」と「ちょっと」の違いについて、例文で説明しました。
10	平成25年03月12日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』の「第3章 交流・対立 試験模擬問題」をやらせてもらいました。2. 「まで」と「までに」の違いについて、例文で説明しました。3. 仮定を表す「もし」と「いくら～ても」の違いについて、例文で説明しました。
11	平成25年03月14日 18:00～20:00	2時間	4人	中国(4人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字と語彙』の「第5章 経済・社会 その壱」に載っている漢字と単語を説明した後、練習問題をやらせてもらいました。2. 接続助詞「から」と格助詞「から」の違いについて、例文で説明しました。
12	平成25年03月16日 18:00～20:00	2時間	1人	中国(1人)	漢字、語彙	1. 『使う順と連想マップで学ぶ漢字&語彙』の「第5章 経済・社会 その弐」の漢字と単語を説明した後、練習問題をやらせてもらいました。2. 文型「しときます」の「とき」と時間を表す「とき」の違いについて、例文で説明しました。3. 「よくできました」と「～ことができます」の違いについて、例文で説明しました。

(9)取組の目標の達成状況・成果

所謂「脱北者」と称される北朝鮮難民を主たる対象としていたところ、前述のとおり、最初こそ北朝鮮難民の参加が得られていたが、諸事情から次第に参加者が減り、最終的に在日中国人や在日韓国人に入れ替わってしまった。その意味で、外国人一般の定住支援には効果があったが、北朝鮮難民については、目標の達成は道半ばであったし、余り成果はなかった、と結論せざるを得ない。

(10)改善点について

北朝鮮難民の新たな流入が止まったことは、難民の流出入の防止を図る中朝国境監視の一層の厳格化とか、各国公館や国連機関に保護される「脱北者」の新たな出国は認めないとする中国政府の政策に基づいており、また、一定程度の日本語に習熟した既に定着済みの北朝鮮難民が、日本語教室への出席よりアルバイト等の収益活動を優先させることは、彼らの自主的な判断の問題であり、我々NGOとしては如何ともできないことである。我々としては、十分な日本語能力の習得が、将来の安定的な収益活動や社会生活の前提になる旨、繰り返し説得に努めたが、初級程度の日本語習得で満足し、北朝鮮難民の過半は目先の金銭目当てのアルバイト等に流れてしまった、というのが実情である。

従って、取組の内容や実施体制について、現時点で我々として改善すべき点を具体的に記載することは難しい。平成25年度の本件事業の継続申請を断念したのは、以上の事情に基づく苦渋の決断である。

○取組2:日本語教育シンポジウム

(1)体制整備に向けた取組の目標

日本語コース運営から得られた知見を還元し、今後関係団体と連携して定住支援に当たって行くためのシンポジウムを初開催する。

(2)取組内容

定住者問題と日本語教育に関わるNGO関係者や大学教授をパネラーとするシンポジウムを開催し、関係NGOや日本語教師のフロアからの参加も得て、諸々の知見や問題意識を共有した。

(3)対象者

外国からの難民・残留孤児・脱北帰国者を含めた定住外国人、並びにそれに関連するNGO関係者、研究者、行政機関担当者

(4)参加者の募集方法

「定住者問題と日本語教育シンポジウム」開催のお知らせを作成し、「北朝鮮難民救援基金」のホームページに掲載すると共に、同「基金」メーリングリストに基づき、関係NGO等々や支援者、関係者にメール送信し、周知を図った。

(5)参加者の総数 約70人

(出身・国籍別内訳 日本 約50人、中国 約10人、韓国 数人、北朝鮮 数人)

(6)開催時間数(回数) 約4時間 (全1回)

(7)取組の具体的内容

別添「定住者問題と日本語教育シンポジウム」のプログラム記載のとおり。

(8)特徴的な活動風景(2~3回分)

当「北朝鮮難民救援基金」機関誌「北朝鮮難民救援基金NEWS」Mar 2013 No. 81
掲載記事のとおり(当「基金」佐伯副理事長執筆分)。

(9)取組の目標の達成状況・成果

日本語習得希望者の実情を知ること、日本語教育の成功例、失敗例について学び、今後に生かすことという目標は達成され、或いは達成されつつあるが、「日本語を学ぶことは、日本文化を知ること」という基調報告者の認識を参加者が共有できたことは、ひとつの成果である。同報告者は結びとして、「今後、労働者としての日本語教育、生活者としての日本語教育、高等教育のための日本語教育の間に通底した「日本を学ぶ」ための一貫した考えの構築が必要であり、日本語教育とは、私たち日本人にとって現代の日本とは何かを問うものでもあると言える。その際、日本語を学ぶ外国人たちが、日本語を通じて自分の母国の文化を日本語で伝えることと表裏一体化した言語教育に一つの理想があるのではないか」と伝えた。

取組の目標の達成状況や成果については、検証方法も含めて、今後も常時、検討されるべき課題である。

(10)改善点について

日本語教育シンポジウムについて、今後も適宜に開催することは、効果的な日本語教育の実現のために必要なことである。シンポジウム内容については、日本語教育の資金的な後援者でもある文化庁や文部科学省担当官のより大きな且つ深い参画を求め、意見を戴きたい。実施体制についても、その実際の体制構築に参加して戴きたい。

今回のシンポジウム実施に際しても、文科省関係者、或いはそこから紹介を受けた者の参加を企図したが、諸事情から実現できなかった。

<北朝鮮難民救援基金 NEWS 報告>

定住に欠かせぬ日本語と日本社会の仕組みを知る努力 シンポジウム「定住問題と日本語教育」

佐伯 浩明

日本は外国籍者300万人と国際化時代を迎えている。その中にはブラジル・ペルーの日系出稼ぎ労働者、インドシナ難民や中国残留孤児、北朝鮮脱北者など、日本と縁を持つ人々が、国を離れて第二の母国・日本で定住生活を送っているが、すでに二世、三世の時代となり、日本語が話せず生活に苦勞している。そこで北朝鮮難民救援基金は専門家の方々を招き、円滑な定住生活実現のために日本語教育はどうあるべきかを探るべく、さる2月24日(日)東京・駿河台の明治大学リバティータワー教室で「定住問題と日本語教育シンポジウム」を開催した。以下は主な討議内容である。

◆将来デザイン無さ問題——吹浦忠正氏

「難民を助ける会特別顧問」の吹浦忠正・さぽうと21理事長は基調報告を行った。吹浦氏は「日本には『難民』という言葉も無く、難民受け入れの経験も無かった」が「助ける会」で得た教訓は「日本語マスターは定住のための必要条件だが、十分条件ではない。労働用、生活用、学問用と日本語能力は皆違うが、言葉より情熱があれば恋愛できるように、習うより慣れよで、説得できる言葉の力がつくよう支援すると良い」と助言。また「日本は1000万移民の言葉も飛び交うが外国人労働者政策が定まっていない。将来デザインの無さが問題だ」と指摘した。

◆独・蘭の移民教化政策——金田智子氏

日本語教育学が専門の金田智子・学習院大学教授は、日系ブラジル・ペルー人労働者ら定住外国人が、日本語が解らぬ現状を憂慮し、政府も2006年に外国人労働者問題関係省庁連絡会議を設置し、生活者としての外国人に関する総合的対応策に乗り出したなどと報告。移民受け入れの歴史を持つドイツやオランダの学習プログラムも紹介。ドイツは600時間の社会統合プログラム受講を義務づけ、1時間1ユーロの負担を原則としたが、オランダは、受講は任意だが、一定能力を持たぬと永住できぬよう改革。オランダ語とオランダ社会習得のテスト合格などを義務化しているなどと報告した。

◆日本学びの考えが必要——川島高峰氏

アジアの人権問題に取り組む川島高峰・明治大学情報コミュニケーション学部准教授は、2009年から日本語教育センターを設けている明大の留学生や、2011年から国連難民高等弁務官事務所と連携して始めた難民入学制度の実情を紹介。「講義レベルの日本語は、生活者としての日本語だけでは不十分で、高校の日本史や現代社会などの教科書を教材にして教養を深め日本社会リテラシーを高めた」と助言。「今後は労働者として、生活者として、留学生としてと、各段階の日本語教育に通じた日本学びのための一貫した考えが必要だ」と強調した。

◆日本語教育は戦略課題——田平啓剛氏

当基金の日本語教育センター長を務める田平啓剛理事が、脱北者らを対象に2011年6月に関いた日本語教育センターの運営体験を踏まえて指摘し、「脱北者が日本語能力を向上させることは、定住生活の安定に役立ち、治安上もより良い社会を造る上でも大事なことで、日本語教育事業は平和で安定した社会づくりに必要な一つの戦略的課題だ。政府の財政事情は厳しいが、より柔軟な支援の基準があってもよい」と訴えた。

◆難民受け入れの雅量——中国人定住者

会場からは、天安門事件の亡命者である中国人定住者が立ち「事件から25年が経過したが難民申請をあきらめた。日本で生きていく事は難しい。入管当局には難民について『面倒臭い』存在というマイナスイメージが深くある。ベトナム人は認定を受けた者が1万人ぐらいいるのに中国人は何故受け入れないのか、と心の中で語り泣いた。外国人に対する社会の気持ちが大事だ」と述べ、難民を受け入れる心の広い雅量を持つよう訴えた。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

昨年度実施した北朝鮮難民日本定住日本語コースを今年度も継続実施することを通して、北朝鮮難民が日本社会の良き共生者として定着するための教育支援を組織的に実施し、スムーズな日本定着を促進する。また、日本語コース運営から得られた知見を還元し、今後関係団体と連携して定住支援に当たって行くためのシンポジウムを、日本政府が定める「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」(12月10日～16日)の期間中に初開催する。

日本の北朝鮮難民定住は従来、政府支援がなく難民本人の自助努力とNGO有志による個別的支援により行われるのみであったが、上記の取組によって、組織的定住支援段階へと進める。

(2) 事業目的の達成状況

取組1については、前述の通り、北朝鮮難民受講者の激減という事態を受け、外国人受講者の性格に大きな変更があった。当「基金」が本事業から撤退の止む無きに至ったのは、正にこの性格変更に基づくものである。

他方、取組2については、諸般の事情から当初予定していた時期こそ失したものの、年度内の実施には漕ぎつけられた。関係の報告記事等にもあるとおり、その中身は充実したものがあり、所期の目標は達成され、又は達成されつつある。更に諸々の示唆を受け、今後の展開に期すべきものがあることを考慮すれば、シンポジウム開催は大きな成功であった、と結論することができる。

しかしながら、外国政府の政策変更という不可抗力の事態、また、難民本人の自助努力に欠けるものがあったという事態から、全体としては、本件事業によって組織的定住支援段階へ一歩ステップアップするという試みには、必ずしも成功したとは言えない。従って、本件事業目的の達成状況は未だ道遠し、と言わざるを得ない。

(3) 地域における事業の効果、成果

本邦に居住する北朝鮮難民の大部分は首都圏並びに関西圏の都市部に住んでいる。その意味で、昨年度並びに今年度、首都東京に日本語教室を設置したのは、地域の課題を踏まえ、地域の実情に適うものでもある。今後とも、こうした事情に基本的な変更はない。

来年度は、既述の理由から日本語教室の設置・運営は行わないが、取組1の反省や取組2から得られた知見は、今後の日本語教育の体制整備に有形無形の寄与を果たすものと期待している。

(4) 改善点、今後の課題について

i 現状

既述のとおり、現状では、北朝鮮難民の新たな大規模な流入は考えにくいし、既に本邦社会で定着を果たしている同難民に日本語教育への進むような熱い要望は少ない。

ii 今後の課題

中国政府の対北朝鮮難民政策の推移、北朝鮮における政治・経済情勢の推移等々、近隣諸国での変化に常に注意を払い、将来、再び「北朝鮮難民」に対する「生活者とし

での日本語教育」の必要が生じたとき、迅速且つ的確に対応できるよう、少なくとも心の準備は整えておきたい。また、中長期的課題として、複数の省庁にまたがる日本語教育機関（職業教育機関も含めて）の効果的な活用策についても、この際、検討や協議を進めておきたいものである。

iii 今後の活動予定

来年度を含め、当面、本事業の実施予定はない。「今後の課題」に記述したとおり、却ってこれを奇貨として、中長期的課題に腰を据えて取り組み、また「日本語教育とは何か?」、「日本語教育は究極的に何を目的としているのか?」等といった本質的な考究にも取り組んでおきたいものである。